

三重県入札等監視委員会 審議概要（平成28年度 第4回）

開催日及び場所	平成29年2月28日(火)14:00~16:00 JA三重健保会館 3階 大研修室	
出席委員	委員長 林 拙郎 副委員長 福島 礼子 委員 木本 凱夫 委員 岩田 広子 委員 長谷部 拓哉 委員5名中5名出席	
審議対象期間	平成28年10月1日から平成28年12月31日	
抽出案件	総件数 12件	(備考)
一般競争入札	11件	
指名競争入札	1件	
随意契約	0件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	特になし	

意見・質問	回答
<p>入札・契約事案の審議について</p>	
<p>工事名 ①伊賀市(旧上野市東部)雪氷対策(単価契約)業務委託(除雪1) [伊賀建設事務所] ②伊賀市(旧上野市西部・旧島ヶ原村)雪氷対策(単価契約)業務委託(除雪2) ["] ③伊賀市(旧阿山町)雪氷対策(単価契約)業務委託(除雪3) ["] ④伊賀市(旧伊賀町)雪氷対策(単価契約)業務委託(除雪4) ["] ⑤伊賀市(旧大山田村)雪氷対策(単価契約)業務委託(除雪5) ["] ⑥伊賀市(旧青山町)雪氷対策(単価契約)業務委託(除雪6) ["] ⑦名張市(北部)雪氷対策(単価契約)業務委託(除雪7) ["] ⑧名張市(南部)雪氷対策(単価契約)業務委託(除雪8) ["]</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・参加可能業者数はどれくらいあるのか。 ・毎年同じような業者が参加しているのか。 ・参加資格が舗装業者とあるが、除雪業者というのはいないのか。 ・雪が降る年、降らない年があると思うが、どういう契約になるのか。 ・一般競争であるのに、ひとつ落札した業者を以降の案件で無資格とすることは問題ないのか。 ・この業務を履行したら、次年度以降に参加する際の施工実績となるのか。 ・要件にアスファルトプラントを有することとなっているが、雪氷対策に必要なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管内で108者、準管内で3者である。 ・舗装を専業としている業者さんが参加されている。同じ施工場所もあれば、場所が変わることもある。 ・除雪専門の機械を持つ業者はいないので、モーターグレーダーやタイヤショベルで雪を除雪することになるが、それらの機械は主に舗装業者が持っているため、そこに発注をしている。 ・単価契約であり、時間あたりの業務についての基準単価を入札いただくものである。それらの業務のすべてを足し合わせたものが設計金額となる。 ・入札参加要件でその旨を示している。それにより競争性が担保できないようでは問題であるが、十分競争性があると判断している。 ・舗装の機械を使用して業務をしていただくものなので、施工実績については舗装工事の実績としており雪氷業務は認めない。 ・舗装工事の経験がある者ということから要件にしている。
<p>工事名 ⑨一般国道169号(土場バイパス)道路改良(新土場トンネル(仮称))工事 [熊野建設事務所]</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・参加業者が2JVで少ないがどんな理由が考えられるか。 ・新しいトンネルを掘るといふ工事になるのか。 ・総合評価の技術提案で点差がついたのは、一方が明らかに優れていたということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理由はわからないが、県内で代表者になれる業者は16者あり、そのうち8者がトンネルの施工実績がある。要件においても特別な設定はしていない。 ・現在のトンネルでは大型車の通行などで安全な状況が確保できないこととなっているため、バイパスとして計画をしているものである。 ・そういう判断になる。施工の経験に基づいた有効的な提案がされていたということである。

入札等監視委員会 平成28年度 第4回定例会（平成29年2月28日）	
意見・質問	回答
<p>工事名 ⑩予防治山事業（農山漁村地域整備交付金）第4号工事（宮ノ脇）〔熊野農林事務所〕</p>	
<p>・ほとんどの業者が最低制限価格で応札してきている状況であるが、算出しやすいものなのか。</p> <p>・1回目に土木一式工事で公告され、3日後に中止されているが、業者から指摘され中止に至ったのか。</p> <p>・2回目で落札した業者は、中止した1回目にも参加資格はあったのか。</p>	<p>・歩掛や単価は公表されており、最低制限価格の計算式についても公表されているので、適正に積算すれば算出はできるものとなっている。</p> <p>・業者から発注区分について、とび・土工ではないかと指摘があり中止した。</p> <p>1回目にも参加資格はあった。</p>
<p>工事名 ⑪山村浄水場耐震化工事〔北勢水道事務所〕</p>	
<p>・企業要件を満たす代表者の数はどれくらいいるのか。</p> <p>・総合評価の技術提案ではどのような差があったのか。</p> <p>・総合評価の評価項目で、他案件のように男女共同参画やISOなどを評価しないのはどういう理由か。</p> <p>・浄水場の耐震化であるが、配管についてはどうなるのか。</p>	<p>・140者程度ある。施工実績については、最近では新設は少ないが増設も対象である。</p> <p>・稼働中の施設の横での工事になるので、現地をよく理解し、具体的な対策を提案していれば評価は高くなる。</p> <p>・本案件はWTO案件であるため、地域性をはじめそういった要件は排除し、海外企業等が参加できる評価項目の設定をしている。</p> <p>・コンクリート管の中に鋼管を入れたりして補強を進めている。</p>
<p>工事名 ⑫多気浄水場排水処理施設構造物診断業務委託〔南勢水道事務所〕</p>	
<p>・7者指名して5者が辞退しているが、再度5者を選び直すことはしないのか。</p> <p>・辞退理由について詮索することはあるのか。</p> <p>・辞退者が多かったということは、耐震診断業務をする業者が不足しているのか。</p>	<p>1者入札となれば最初からやり直すことになるが、2者以上である為そのまま入札を進めた。</p> <p>・辞退届に辞退理由は記載されているが、技術者の配置が困難である等の理由が多い。</p> <p>・耐震化を図っていくことが今の流れなので、それなりの需要はあると思われるが、実際はよくわからない。</p>
<p>その他</p>	
<p>・次回、平成29年度第1回入札等監視委員会の開催日は、平成29年5月30日（火）の予定とする。</p>	